

日野本町地区公共施設再編基本構想・基本計画策定検討委員会（第1回） 意見内容・対応方針整理表

項目	発言者	意見内容	総括	対応方針	
対象敷地について	前田副委員長	甲州街道に隣接した北側とそこから奥まった南側では性格が異なると感じるため、それぞれの敷地の特徴を捉える必要がある。	2つの集約拠点を一体で検討	第2・3回検討委員会で提示予定の再編の方向性を検討する際の参考とする。	
	宮崎(精)委員	北側と南側の集約拠点は、全体でひとつのまちであるという認識を持つべき。			
施設のあり方について	滝本委員	皆が利用しやすい施設にしてほしい。	キーワード： 交流 防災 日野宿 新選組		
	谷井委員	日野宿の歴史に調和した形での複合化、多機能化を進めてほしい。			
	石川委員	新選組に関することを集約するなど1つのキーになるようなものがあると良い。			
	小杉委員	地域に根差した特色ある社会教育施設や学校づくりができると良い。			
	佐藤委員	特色ある歴史や文化を次の世代に伝え、文化の交流もできるような施設になると良い。			
	宮崎(竹)委員	防災機能を備えた施設整備を検討してほしい。			
空間の使い方について	川崎委員長	今後求めていくべきは、時代の変化に対応し、柔軟に利用できるスペックを要求していくこと。	ハードのみならず、 ソフトの視点も重要		
	田中委員	何を実現したいのか、どのように運営していきたいのかというところを考えるべき。			
	渡邊委員	ソフト面を十分に考えて、できあがったけれど使い勝手が悪いということが起こらないようにする必要がある。			
	宮崎(竹)委員	使いまわしができるといことを考えてほしい。			
	川崎委員長	上手くマネジメントし、稼働率を上げつつ、良いスペックの施設をつくることを検討できると良い。			
導入機能について	太田委員	可動式間仕切り等により、様々な大きさや場面で使いやすい会議室を用意してほしい。	キーワード： 稼働率 柔軟性 時代変化への対応	本計画協議において庁内で設置した庁内検討会議、庁内ワーキンググループ会議の防災担当に共有し、対応を検討する。	
	滝本委員	日野第一小学校に、万が一の際に避難できるようなシェルターを作してほしい。		第2回検討委員会以降、適宜紹介する。	
	太田委員	事例を踏まえ、機能の組み合わせから生じる課題があれば知りたい。			
集約化パターンについて	中島委員	甲州街道の北側は敷地形状的にも一体の建物とするのが難しい中で、1つ1つの建物が離れていても一体的な空間が演出できると良い。	縮充の実現に向けて チャレンジングな検討を/ 子どもたちにとって より良い小学校のあり方を 模索	第3・4回検討委員会で提示予定の集約化パターン（案）を検討する際の参考とする。	
	小池委員	『日野本町周辺地区公共施設複合化・多機能化検討報告書』における集約化パターンは駐車場が多いと感じるので、立体化できないか、広場をもう少し広げられないかなど、子ども目線を含めて検討していきたい。			
	前田副委員長	甲州街道北側の敷地についてはかなり制約があるため、チャレンジングな検討を通して、縮充のメリットを生かせるようにする必要がある。			
	小川委員	小学校を他の施設と複合化することには一長一短がある。安全面では単独の方が管理しやすいが、他の施設と一緒になれば、子どもたちが日常的に市民の皆様と交流する中で、学校単体では学べないことを学んだり、多世代の方と交流したりできる。		キーワード： 広場 子ども目線 小学校の活用	日野第一小学校については、日野市教育委員会にて別途検討している「新たな学校づくり・社会教育施設づくり推進計画」の考え方を今後取込んでいく（11月頃に計画素案がとりまとまる予定）。
	小池委員	小学校の複合化によって、地域の子どもたちと大人が交流できる施設になると良い。			
市民意見について	滝本委員	我々の意見がきちんと反映された施設にしてほしい。	意見反映は確実に	検討委員会のほか、座談会やオープンハウス型説明会等を通じた市民意見聴取を行う中で、市民の皆様からのご意見を着実に反映させた構想・計画の策定に努める。	
今後の検討について	川崎委員長	本委員会では、行政の縦割りに従う必要はなく、市民としてこのような機能が必要、このようなセキュリティが必要だということを明確にしていくべき。	本委員会では 市民として考える必要機能等 を明確に	ご指摘の点を議論していただけるような議題・資料構成に努める。	
	谷井委員	人口が減少してきている中で、施設をできるだけ財政負担なく維持できるようにすべき。			
	宮崎(精)委員	先進事例の参考ポイントが今回の事業にどのように収まるかについて、これから考えていく必要がある。	キーワード： 財政負担の軽減	同様の認識のもと、調査・分析中。当該調査・分析をもとに、第2回検討委員会にて提供サービスの方向性（案）を提示する。	
	伊野委員	施設ごとの利用者の年齢層や頻度等を捉え、利用者ごとにどのような施設がふさわしいのかという情報を整理することが必要。			
その他	宮崎(精)委員	日野宿本陣や甲州街道等の使い方について、より色々なことができるのではないかな。	周辺施設への波及	今後の検討の参考とする。	